

ホーム名：グループホームほほえみ						
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個々の尊厳を守る」、「家庭的な雰囲気の中での生活支援」、「地域とのふれあいと心豊かな生活」という理念を掲げ、事業所内にも掲示、日々のミーティング等においても周知徹底、実践に努めている。	事業所として地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を設定している。理念の実践は、管理者を中心に日々のサービス提供場面を振り返り、理念がケアに反映されているのか確認されている。	今後も継続して、事業所で働く職員一人ひとりが、事業所の理念を理解し、ケアを通じて、理念を具体化されていかれることに期待をしたい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	法人代表者が自治会長を務めており日頃から地域との関わりが強い。敬老会やその他の地域行事にも参加して地域交流に努めている。	自治会に入り、自治会の様々なイベントに利用者と職員が参加することにより、地域に暮らす住民の一員として、地域との交流を深めている。	今後も継続して自治会のイベントへの参加を通じて、地域の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいかれることに期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターと協働で行った地元住民を対象とした認知症ケア勉強会に職員が参加して事例検討を行い、認知症の理解や支援について地域の方々に向けて活かしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	主に日々の活動報告と各委員との意見交換を行っている。身体拘束適正化委員会を同時開催することもあり、事例検討や身体拘束についての勉強会も行っている。会議内で出された提案や改善点をサービス向上につなげている。	地域包括、民生委員等地域の代表者、利用者のご家族の方等が出席され、事業所からの状況報告とともに参加者からも質問、意見、要望等が上がり、双方向的な会議が行われている。	議事録には、会議状況報告の議事以外に決定事項、質疑応答、宿題等に分類整理し、次回の会議では前回の議事録確認から開始されてはどうか。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括センターと連携を密にしている。	事業所の状況は、地域包括に運営推進会議に出席して頂き、情報共有できている。又、必要に応じて、市職員とも日頃から報告、連絡、相談を行い、連携ができています。	現場での課題や問題の解決には、市職員に現場の状況を把握して頂くことも必要になると思われるので、市職員に事業所を認知症の理解を深める研修の場として活用してもらおう検討をされてはどうか。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	昨年度、2回内部での研修会を行う。今年度は外部研修を含め内部でも定期的に研修会を開催する予定である。職員によって身体拘束にあたる具体的な行為については理解度に差はあるが事業所全体で身体拘束ゼロに向けた取り組みを行っている。	事業所内での研修や会議等で職員同士が意見交換を行い、身体拘束ゼロに向けた取り組みが行われている。利用者の安全確保のため、玄関は施錠されている。	身体の物理的拘束以外に、スピーチロックやドラッグロックによる薬物の過剰投与や不適切な投与で行動を抑制することも身体拘束につながると考えられるようになってきているので、身体以外にも意識してケアに取り組んでいかれることに期待したい。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修機会を増やしていく必要もあり、虐待の性質、内容といった認識が職員によって差がみられる。			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者については講演会や研修で学ぶ機会はあったが職員にまで周知や学びの機会はなかった。今後の課題である。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に時間をとって説明をおこなっている。その都度、不明な点や疑問点には応えており一定の理解と納得は得ていると思う。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置したり適時、ご家族へは意見交換の場をもちニーズの把握に努めている。運営推進会議にてもご家族代表として参加して頂き、積極的に意見を求めている。</p>	<p>家族には事業所訪問時や運営推進会議等で常に声がけを行い、出された意見、要望等は職員、管理者と話し合いが行われ、運営に反映できるものは反映させている。</p>	<p>家族からの意見や要望等は、ノート等に記録されているかと思われるが、スマホ等の音声文字変換アプリ等を活用し、その場でデータとして記録しておけば、迅速かつ正確に事業所内で共有化もされるので、検討されてはどうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>個々の職員とのコミュニケーションを図り、意見や提案についても広く職員に意見を求めて、改善策につなげている。</p>	<p>管理者は、各職員からの運営や管理についての意見に耳を傾け、運営に活かし、職員の働く意欲の向上にもつながるよう努めている。</p>	<p>変化する利用者や家族の状況に必要な支援を迅速に提供するためには、職員からの意見が大事となるので、これからも職員とともに事業所運営に取り組みたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>過重労働やストレスの緩和に努めて、職員のモチベーション維持向上に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修機会を設けているが、業務優先になりがちで、機会を増やす必要は感じている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市の事業者連絡会にも参加して交流に努めている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人、ご家族からの聞き取りを行い安全、安心を第一に、ホームに慣れて本人らしく生活出来るように支援している。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の思いや要望には最大限応えられるように努め、その都度、相談については助言を行っている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>他サービスも必要とあれば連絡調整を行い、あらゆることを見極めながら優先的な支援に努めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共同生活という場を認識すると共に、入所者に寄り添い協力的な感じで関係を築いている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>これまでの家族の関係の維持、継続に努めて、必要に応じて協力をもとめていき、家族とのつながりを大切にして支援を行っている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人やご近所さんが気軽に面会できるように支援に努めている。</p>	<p>ご家族や友人、知人が気軽に面会に来てもらえるような雰囲気づくりや近隣への散歩等を通じて、地域の方と交流を行い、地域との関係性も維持継続できるよう日頃のかかわりの中で様々な工夫をしている。</p>	<p>入居するとこれまでの関係性が途切れがちになりやすいと思われるので、友人、知人のことや馴染みのお店、場所等について日常的な会話を通じて思い出してもらえるように努めていかれることに期待したい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>仲良し同士や関係性を理解してストレスの少ないように支援を行っている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>亡くなられてからもご家族のなかにはホームを訪ねて来られたり、お手紙や年賀状にて関係性の維持に努めている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活歴や現状の把握に努めて、本人の意向に近づけていけるように努めている。	管理者と職員は、利用者が望む暮らしや何をしたいのか等を理解するために日々のケアの中で利用者に声を掛け、常に把握に努めている。	把握した利用者の意向や思いは、スマホ等の音声文字変換アプリ等を活用し、その場でデータとして記録しておけば、例えば、職員間の引継ぎ時、正確性も高まると思われるので、検討されてはどうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	趣味や嗜好、ホームに入所に至る経緯を検討して支援に活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの生活サイクルを尊重しながらストレスがかからない生活支援に努めている。また適時モニタリングを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族を含めた担当者会議を開催して、問題点や改善案等を精査して、これらを反映させた介護計画の作成に努めている。	本人の視点にたってその人らしい暮らしを続けられるために、必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成されている。又、本人の変化があれば、必要に応じて介護計画は見直しされている。	本人の状態の変化や期間に捉われず、又、本人や家族等からの新たな要望や意向がないような場合でも、本人との日頃のかかわりの中での思いや意見を大事にされ、必要に応じた介護計画の見直しに取り組んでいかれることに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、ケース記録及び申し送り等で情報を共有して、適時介護計画の見直し等に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズの変化に柔軟に対応して、安心、安全で心豊かに生活してもらえるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社会と地域とのつながりを大切にして、孤立することなく地域のなかで安心して暮らしてもらえるように支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の意向を踏まえて、適切な医療を受けていただくように支援を行っている。	協力医療機関による往診医療を受けられている。往診時、管理者や職員から利用者の体調の変化等を説明されている。	利用者の日々の体調記録管理に、タブレットによる記録入力アプリを活用されてはどうか。記録入力されたデータは、往診前に協力医療機関とデータによる連携も可能となり、往診時の効率化にもつながると思われるので、検討されてはどうか。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>日々の体調の変化や状態の把握に努めて看護師とも情報共有を行っている。必要に応じて、受診や医師との連絡調整を行い支援している。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>介護や看護の情報交換、治療方針の確認等を行い、早期退院に向けた支援や退院後のフォローなどの連携をはかっている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針を定めて本人やご家族にも説明同意を得ている。職員には方針を周知させて終末期に向けた取り組みを行っている。</p>	<p>事業所としての重度化や終末期の看取り方針の策定はこれからとなるが、本人と家族の意向を踏まえて、協力医療機関と事業所が連携をとり、本人と家族が安心して重度化や終末期を過ごせるように対応している。</p>	<p>重度化や終末期の対応では、様々な状況の変化に日々、迅速に対応していくことになるかと思われるが、いざというときには、あわてず、あせらず、あきらめずに本人や家族の揺れ動く思いに寄り添いながら、対応されていかれることに期待したい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時の連絡手順についてはマニュアル化しているが、いざ起こった時の応急手当や救命救急の実践力が不十分である。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災、避難計画の策定、避難経路も確認して、訓練にも活かしている。地域との協力体制も維持できたい。</p>	<p>想定される災害に対し、消防署職員から、最適な避難対策のアドバイスを頂きながら、避難訓練で実践されている。</p>	<p>災害の発生は予測できないが、地域で想定される津波や地震の具体的な影響はある程度、把握できるかと思われるので、その上で、考えられる現実的な避難対策を検討され、訓練内容にも変化をつけていかれることに期待したい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	価値観、人生観に寄り添い思いやりのある言葉かけに努めている。	介助が必要な時は、本人の気持ちを大切に考えながらさりげない言葉かけやケアをされている。又、年長者としての敬意を払い、馴れ合いの関係にならないよう利用者の尊厳を大切にされている。	利用者の人格尊重とプライバシーの確保を、全職員で維持していくことは難しいと思われるが、職員間で日頃のケアの中で、常に具体的に確認しあうことが大事と思われるので、大切にしていくべきだ。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定や主体性を優先して本人の意向に近づけるように支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを優先しながら安全で事故がないように見守りを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみや服選びについても一緒に行い、納得したなかで支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下準備や配膳等を職員と一緒にやっている。	職員による手作り食が提供されている。利用者は、好みに合わせて、分量を調整したり等で、食事を楽しんでいる。又、盛り付けや配膳、後片付け等、利用者個々の力を活かしながら職員が一緒に行うことを大切にされている。	今後も盛り付け、配膳、後片付けなどを、利用者個々の力を活かしながら職員と一緒にやる機会を通じて、利用者一人ひとりに食事を楽しんでもらえるよう努めていかれることに期待したい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	摂取量の記録を行い、足りないときは時間を空けたり、他の物で栄養補給に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日々の口腔ケアを含めて、週一回の訪問歯科診療を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄に努めて、排泄時間を記録して、適時トイレへの声掛けを行い、排泄介助を行っている。	利用者は、回りを気にすることなく行きたいときにトイレに行くことができる。介助が必要な利用者は、排出パターンにそった排出介助が行われている。	継続して、排泄の自立支援に様々な工夫を凝らして、取り組まれていかれることに期待したい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録から排泄パターンの把握に努めて、水分補給や便秘体操、内服薬なども用いてコントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	原則2回、夏季は3回実施しているが希望があれば適時入浴機会を作っている。安全に事故のないように見守りながら入浴支援を行っている。	決められた入浴スケジュールがあるが、利用者のその日の状態や希望を確認してから入浴時間帯を調整している。又、気持ちよく入浴してもらえるよう入浴剤等を活用し、季節感を感じてもらえるよう工夫されている。	今後も継続して、利用者の状態や希望にそった入浴時間帯の調整を行いながら、入浴の場を利用者の思いや意向を確認できるコミュニケーションの場としても活用されていかれることに期待したい。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々に応じての休息、安眠への支援を行っている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の管理は行い、誤薬、誤配がないように注意を払い安全な服薬に努めている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>残存能力を活かして、個々の主体性を大切に支援を行っている。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>希望に応じて外出機会の確保に努めている。家族等の協力もあり少し足を延ばして散歩したり、外出に行ったり、本人が満足してもらえる支援を行っている。</p>	<p>利用者が事業所の中だけで過ごさずに日常的に外出できるように利用者の希望に応じて、近隣への散歩を楽しんでもらえるよう努めている。</p>	<p>継続して、外出が面倒と感じておられる車イス生活の利用者に対しても気分転換や五感刺激の機会として、外気浴等に取り組んでいかれることに期待したい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や力に応じて支援を行っている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば対応している。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な環境や雰囲気作りを第一考えて、快適な空間を維持するための清潔、室温管理、消臭にも気を配っている。リビング近くにキッチンがあり、料理のしている音や匂いを感じてもらえる。</p>	<p>利用者や暮らしとは無縁の飾りつけや装飾品はなるべく置かず、リビングは清潔かつ開放的で広く、日差しも差し込み過ぎしやすい空間となっている。</p>	<p>職員の感性や利用者の思いも大切にしながら、利用者のご家族や地域の方等からの気づきや感想、アドバイスも参考しながら居心地のよい共有空間づくりに取り組んで頂きたい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>限りはあるが落ち着ける場所の確保はしている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や使い慣れた物を使用してもらい、安全で安心してもらえるように工夫はしている。</p>	<p>各居室は、利用者に安らぎを与え、居心地よく過ごしてもらえるよう思い出の品が持ち込まれ、飾りつけされている。</p>	<p>今後も継続して、プライバシーが確保され、安心して過ごせる居室づくりに取り組んでいって頂きたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各個室には暖簾で違いをつけたり、個々の自立した生活が送れるように工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない